

札幌市がん検診のご案内

札幌市では、市内にお住まいで、職場等でがん検診を受ける機会のない方を対象にがん検診を実施しています。

◎各検診データにつきましては、札幌市が行う健康増進事業に活用する場合があります。

種類	対象年齢 ※受診日当日	検査項目	実施場所	自己負担額 (窓口でのお支払)
胃がん 検診	満50歳以上で 原則※偶数歳の方 (2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市胃がん検診を受診していない奇数歳の方は受診可能です。	胃部エックス線検査 問診 胃部エックス線検査 (バリウム検査)	○地区会館等(町内会回覧板等で予約) ○各区保健センター等(予約制) ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	1,100円 2,200円
		内視鏡検査 問診 内視鏡検査	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	3,200円 3,500円
大腸がん 検診	満40歳 以上の方 (1年に1回)	問診 便潜血検査(2日法)	○地区会館等(町内会回覧板等で予約) ○各区保健センター等(予約制) ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	400円
子宮がん 検診	満20歳以上で 原則※偶数歳の女性 (2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市子宮がん検診を受診していない奇数歳の女性は受診可能です。	①問診・視診・子宮頸部の細胞診・内診 ②子宮体部の細胞診 (医師の判断により実施)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	① 1,100円 ①+② 1,700円 ① 1,400円 ①+② 2,100円
乳がん 検診	満40歳以上で 原則※偶数歳の女性 (2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市乳がん検診を受診していない奇数歳の女性は受診可能です。	問診 乳房エックス線検査 (マンモグラフィ検査) 40歳代 2方向撮影 50歳代以上 原則※1方向撮影 ※医師の判断により2方向撮影とする場合もある。	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	2方向撮影 1,300円 1方向撮影 1,100円 2方向撮影 1,800円 1方向撮影 1,400円
肺がん 検診	満40歳 以上の方 (1年に1回)	超音波検査 ※マンモグラフィ検査の受診時に、超音波検査に同意した満40歳～満49歳の女性が対象	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	800円
その他の検査		①問診・胸部エックス線検査 ②喀痰細胞診 (問診の結果により実施)	○地区会館等(住民集団健診時に併せて実施、予約不要) ○// (町内会回覧板等でご案内の日程、予約不要) ○各区保健センター等(集団検診時、予約不要) ○北海道結核予防会札幌復十字総合健診センター※2 ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1	① 無料 ①+② 400円

他の検査

胃がん リスク判定	満40歳の方 (生涯に1回)	問診 血液検査 ・血清ペプシノゲン検査 ・ヘリコバクターオリ抗体検査	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	900円 1,000円
前立腺がん 検査	満50歳～満69歳で 原則※偶数歳の男性(2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市前立腺がん検査を受診していない奇数歳の男性は受診可能です。	問診 血液検査(PSA検査)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	500円

●実施医療機関の予約連絡先

※1 住所:東区北26条東14丁目 ☎748-5522

※3 実施医療機関掲載ホームページ

※2 住所:北区北8条西3丁目札幌エルプラザ5F ☎700-1331

二次元コード

予約は医療機関等へ直接お申いみください。予約時に「札幌市のがん検診を受診したい」とお伝えください。

■検診に持参するもの 氏名、年齢、住所を確認できるもの(健康保険証等) ※胃がん検診(内視鏡検査)受診の場合は、健康保険証必須

■札幌市がん検診の対象者のうち、費用が免除される方【確認書類】

1 市・道民税非課税世帯の方【市・道民税課税証明書(18歳以上の世帯員全員分)、または65歳以上で保険料段階が第1、2、3段階の介護保険料納入通知書等】

2 生活保護世帯の方【生活保護受給証明書、生活保護世帯健康診査受診券】

3 満65～69歳の方で、後期高齢者医療被保険者の方【後期高齢者医療被保険者証、後期高齢者健診受診券】

4 満70歳以上の方【70歳以上であることが証明できるもの…健康保険証等】

5 中国残留邦人等支援給付世帯の方【本人確認証】

※症状がある方や妊娠中・授乳中の方、または今までにかかった病気によっては、札幌市がん検診を受けられないこともありますので、主治医にご相談ください。

一般的なお問い合わせ:札幌市コールセンター(年中無休 8時～21時) TEL 222-4894

担当:札幌市保健福祉局ウェルネス推進部がん検診担当 TEL 011-211-3514、各区保健センター

詳しくはホームページをご覧ください

札幌市がん検診 検索 <https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/sapporosigankensin.html>



がんは、早期発見すれば
90%以上が治ります。※1

ぜひ、この機会にお受けください。

あなたが受けるべきがん検診がわかります。

該当する年代をご覧ください。

札幌市

※1 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。

相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。

出典:全がん協加盟施設における5年生存率(2009～2011年診断例)

※2 男性は40歳から、女性は20歳から、国によって対策型検診として推奨されているがん検診をご紹介します。



さっぽろ市
02-F06-24-27
R6-2-20

▼ 男性の方へ

40代

40代男性死亡原因 1位が、がんになりました。

がんは高齢者だけの病気ではありません。
40代はがんが増え始めため、検診によって
早期発見することが大切です。

あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診（なりやすいがん順）^{※4}

1 大腸がん

2 胃がん

3 肺がん

40代男性の死亡者数
ワースト5（2018年）^{※3}

1位 がん	7,215人
2位 自殺	3,396人
3位 心疾患	2,630人
4位 脳血管疾患	2,030人
5位 不慮の事故	1,212人

▲ 女性の方へ

20代
～30代

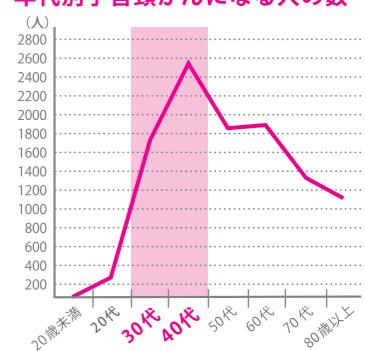
20歳を過ぎたら2年に一度、
必ず子宮頸がん検診を受診してください。

「まだがん検診は関係ない」そう思っていませんか？

子宮頸がんは、20代後半から増えるがんです。ただ、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒し、妊娠・出産にも大きな影響はありません^{※4}。でも、早期の段階では自覚症状がないため、検診を受けないと見つけられません。

子宮頸がん検診は、あなたの命と子宮を守るための検診です。

年代別子宮頸がんになる人の数^{※4}

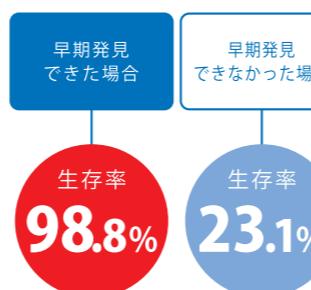


50代

50代はそろそろ“がん年齢”。
でも、定期的な検診受診で、自覚症状が出る前に
がんは早期に発見できます。

大腸がん・胃がん・肺がんは、早期発見によって80%以上が
治癒します^{※5}。

発見時期による5年生存率
(大腸がんの場合)^{※5}



1 大腸がん

2 胃がん

3 肺がん

40代

40代女性の約2人に1人が、乳がん検診を受診
しています。でも、乳がんの他にも気をつけなければ
いけないがんがあるのをご存知ですか？

子宮頸がん・大腸がん・胃がん・肺がんといった、乳がん以外の
がんにも、毎年約8千人の40代の女性がなっています^{※4}。



60歳
以上

60歳を過ぎると、がんになる人は激増。
毎年、約15万人の60代男性が、がんに
なっています^{※4}。

早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと
見つけられません。だからこそ、検診による早期発見が大切。

年代別がんになる人の数
(男性)^{※4}



1 胃がん

2 大腸がん

3 肺がん

50代

50代は、女性の身体が大きく変わる年代。
がんで死する人の数も大きく増加します。

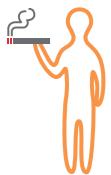
乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・子宮頸がんといったがんは、
早期発見で80%以上が治癒します^{※5}。しかし、早期のうちは
自覚症状がないため、検診を受けないと見つけられません。

左記の5つのがんによる
50代女性死亡者数^{※3}

計5,309人

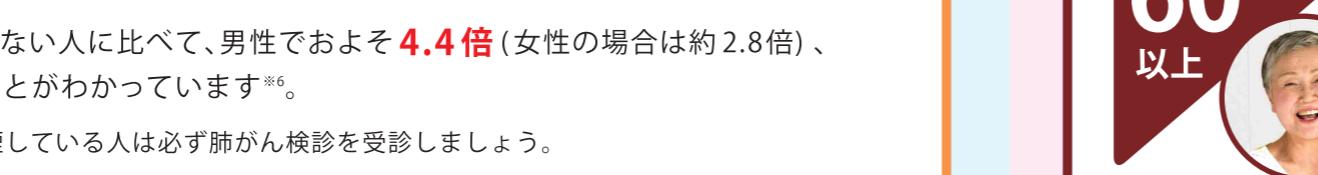


タバコを吸う方へ



たばこを吸う人は吸わない人に比べて、男性でおよそ4.4倍（女性の場合は約2.8倍）、
肺がんになりやすいうことがわかっています^{※6}。

自身の身を守るため、喫煙している人は必ず肺がん検診を受診しましょう。



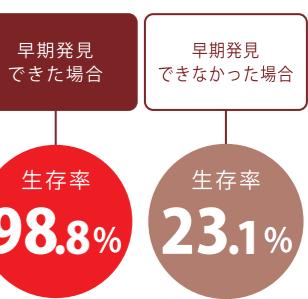
がんになつたら治らない、そう思っていませんか？
がん検診を対象者がみな正しく受けると、

毎年日本全国で約6万7千人の命が救われます^{※7}。

（ここでいうがん検診とは、推奨されている以下の5つの検診を指します）

女性がなりやすい5つのがんは、検診による早期発見で
80%以上が治癒します^{※5}。

発見時期による5年生存率
(大腸がんの場合)^{※5}



※3 出典：人口動態統計（2018年）

※4 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（全国がん登録、2016年）

※5 ここでいう「治る（=治癒）」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協加盟施設における5年生存率（2009～2011診断例）

※6 Wakai K et al. (Jpn J Clinical Oncol 2006;36:309-324)

※7 国立がん研究センター希望の虹プロジェクトによる推計値